

「地域の中核、世界の人材」 UNIVERSITY OF YAMANASHI

山梨大学広報[ヴァイン]

December 2009 vol.9

# Vine

## 山梨における 理科の中核となる 教員の養成を目指して

—CST養成プログラムの開発と試行—

CST養成拠点構築事業 実施責任者  
教育人間科学部 教授 松森靖夫

[人物発掘]

小泉修一教授  
(医学部薬理学講座)

[ゼミ紹介]

教育人間科学部 共生社会講座

大学の財政状況について

サークル紹介/クローズアップビーふる/気になるお店





# 山梨における 理科の中核となる教員の 養成を目指して

—CST養成プログラムの開発と試行—

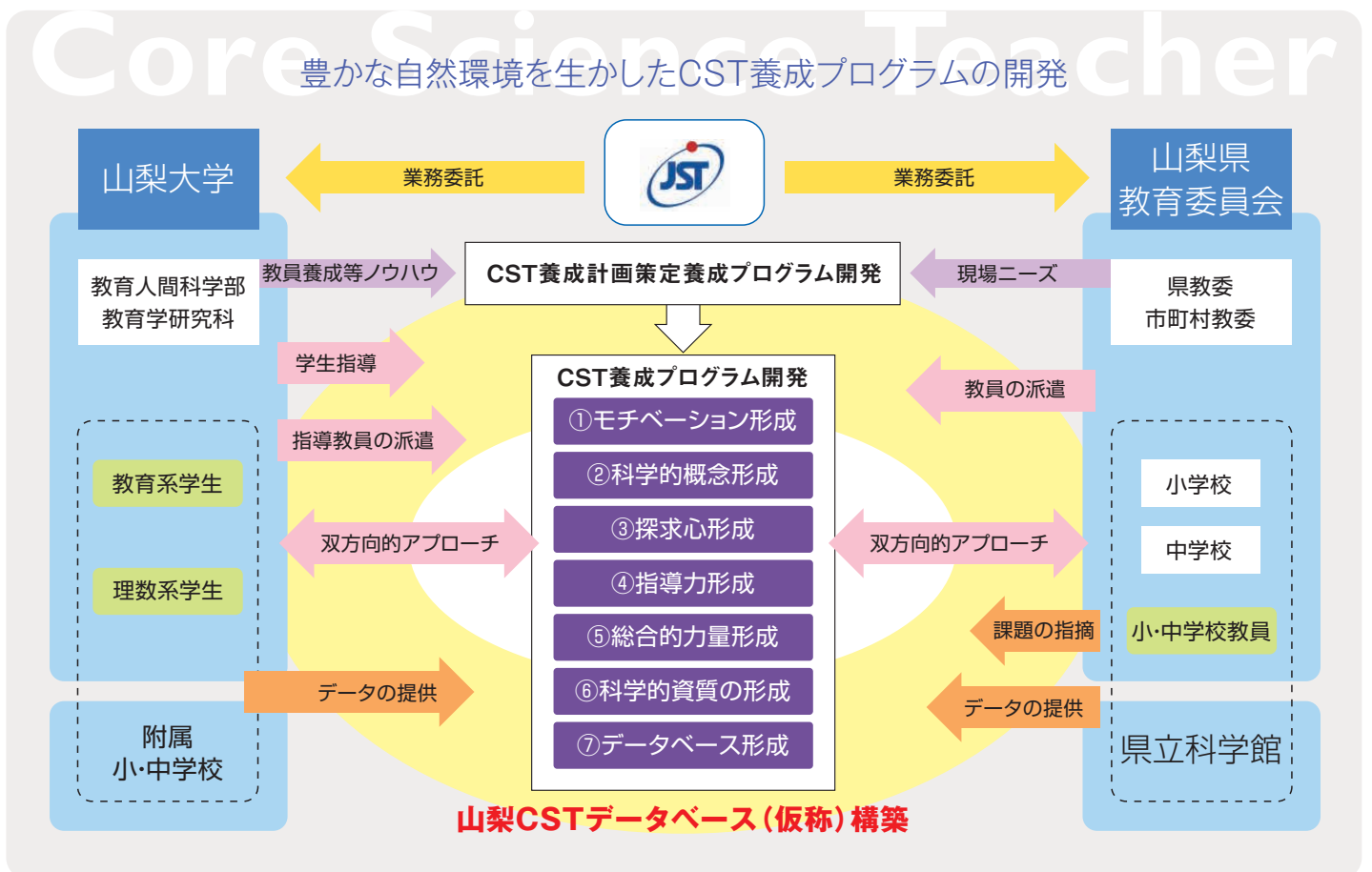
CST養成拠点構築事業 実施責任者 教育人間科学部 教授 松森靖夫

## 本事業の概要と目的

山梨大学では、今年度より、理数系教育の中核を担う教員を養成することを目的として、理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー、略称CST）養成拠点構築事業を試行することになりました。本事業名は「山梨県の豊かな自然環境を生かしたCST養成プログラムの開発と試行」であり、文部科学省所管である独立行政法人科学技術振興機構（JST）による採択・助成を受け、本学を実施責任機関として、山梨県教育委員会・山梨県立科学館との三者の連携のもとで

取り組みます。

CSTとは、『指導力に優れた小中学校教員として自ら教育実践を行うとともに、理数教育支援拠点も活用して、研修会や教材開発で中心的な役割を果たすことなどにより、地域の理数教育の質の向上を図る教員』を指します。県内の小中学校においてCSTが活躍することにより、理科教材や理科指導、また理科授業内容の多様化・充実が図られると同時に、県内の小中学校教員の理科授業の能力の向上へと繋がります。その



結果として、県内の小・中学生の理科学力のレベルアップをもたらすことにもなります。

図に示したように、CSTを養成するために、山梨大学・山梨県教育委員会・山梨県立科学館がこれまでに培ってきた理数教育のノウハウ・データ・施設・人材などを出し合いながら、構造的に取り組み始めたところです。今後は、毎年20名(県

内の理科の現職教員10名と山梨大学の教員志望学生10名)のCSTを計画養成する予定です。さらに、本事業で得られる有用な情報を管理する山梨CSTデータベース(仮称)を構築し、効果的な理科学習指導方法等に関する情報提供を行っていきます。

## 動き始めたCST養成プログラム



A:「山梨の岩石と鉱物」(ハヶ岳山麓にて/8月19日)



B:「生物学実験」(山梨大学にて/9月30日)

既に、三者の連携・協力のもとでCST養成プログラムが実際に進められています。まず、図のプログラム①では、山梨の動植物、地質や岩石、ワインづくり等を取り上げ、受講者を自然科学に誘う活動(写真A参照)を展開しています。②では、自然科学の諸領域に関わるやや高度な観察・実験(写真B)を行う一方、受講生自らの手で実験の具体的内容の立案及び実験手順書の作成なども行っています。③では、本学の学内共同教育研究施設である燃料電池ナノ材料研究センターや高エネルギー加速器研究機構(写真C)等において最先端科学に関する研修を行い、実際に体験することで、義務教育段階の理科学習内容の発展的理解を養っています。④においては、高等学校自然科学発表会(写真D)や自然科学部の視察を通して、自然科学に対する受

講者の指導力を養成しています。⑤では、理科の現職教員や科学館の学芸員の方などの協力のもと、小・中学校理科授業を指導する上で必要な具体的な観察・実験についての研究を深めています。⑥では、山梨科学アカデミー総会特別講演などへの参加を通して、受講者の科学的リテラシーの更なる向上を目指しています。そして、⑦のデータベースは、CST養成プログラムにより得られた理科教育実践例やノウハウ等を蓄積するとともに、有用な情報の提供と共有を行う場となるものです。

現在、データベースについては企画段階ですが、県内の現職教員が理科授業実践に利用できる資料や実験方法の提示、また県内の小・中学生が抱く自然事象に関する疑問にCSTメンバーが回答する等の活用を考えていきます。



C:「素粒子研究の現状と未来」(高エネルギー加速器研究機構にて/8月8日)



D:「自然科学研究発表会」(山梨県中央市立田富小学校にて/10月18日)

世界のトップレベルの科学者である

江崎玲於奈、小柴昌俊、野依良治先生などにより構成される審査会で受賞者が決定され、将来の学術研究のリーダーとして、後のノーベル賞候補者となるような研究者に贈られる賞で、日本の学術賞としては最も権威のある賞である

「日本学士院学術奨励賞」を受賞された、小泉修一教授にお話を伺いました。



Schuichi Koizumi

## 小泉修一教授

(医学部薬理学講座)

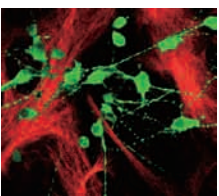
# 発人掘物

「日本学士院学術奨励賞」受賞おめでとうございます。ところで、「グリア細胞」とはどのような細胞なのですか？

ありがとうございます。

最初から「グリア細胞」のことをお話すると、堅物の研究者みたいに受け取られるので、ちょっと心配していますが、私の特徴かもしれませんのでお話しさせていただきます。

グリア細胞とは、脳を構成する細胞の一種で、ギリシャ語の「糊」に由来しています。その存在はもう百数十年も前から知られていましたが、その語源が示すように、非常に静かな細胞であったので、脳の研究者はもう一つの脳細胞で、非常に電気的な活動生が高い神経細胞の研究ばかり行っていました。脳は神経細胞の塊と考えがちですが、実際にはグリア細胞のほうがずっと数が多いのですが、この様な理由でグリア細胞は、これまで脳研究の表舞台に登場することは殆どなかったのです。



Glia-Neuron (グリア細胞)

私も同じような研究をしていたのですが、「他の研究者と違う方法」、つまり電気活動以外の指標を使って脳の研究をしていたことが幸いして、グリア細胞の重要性に気づくことができました。

「人と違った方法や方向から検討すること」が好きだったこと、また「独創性が重要」と考えていましたので、少々遠回りでもこの方法で実験していたところ、「邪魔」だと思っていた「グリア細胞」が、実は非常に活動的で、「脳の活動をコントロールしている非常に大事な細胞である」ということがわかってきました。もちろん、運や偶然も重なりましたが、他人と違うとか、独創性を大切にしたらこそ発見出来たのだと思っています。

### 最初から大学の先生を目指されていたのですか？

いえ、「先生」と呼ばれる職業は、実は最もなりたくない職業の1つでした。なりたくない、と言っているとだいたいそれに落ち着くのかも知れませんね。

最初は厚生省(現在の厚生労働省)の研究所に入って研究をしていたのですが、年齢が上がってくると、霞ヶ関での仕事が増えてくるのです。行政的な仕事が大切なのは

解っているのですが、研究をしたいのに、規則を作ったり改訂したり、さらに医薬品の許認可業務といった仕事をしなくてはいけないことは、私にとって苦痛に近いものでした。そこで、研究が出来る環境を探していましたところ、「大学の先生」になってしまったわけです。

ゴルフはあまりやらないので解らないのですが「池に入れたくないと意識すると、ゴルフボールが池に入ってしまう」と言うことをよく耳にします。これと同じようなことかも知れません。ただ、「先生」になると研究ができるか、というとまた少し違う話かも知れませんね。でも今は楽しくやっています。

### 高校生の時から研究者を目指していたのですか？

幼少時代からずっとスポーツに入れ込んでいました。特にスピードスケートは国体で入賞したこともあります。でも、500mは得意でしたが長い距離になりますと、全くダメなのです。これは、陸上にも言えます。研究では、持続力があると思っているのですが、スポーツでは短くて一瞬で終わる競技が得意でした。何故かは今も解りませんが、研究は持続力と瞬発力両方が必要だな、と今では思っ

ています。

高校生と言いますと、後悔していることがあります。それは“髪の毛”のことで、一時期、角刈りにしてソリ込みを入れた、というか毛を抜いていた時期があって、今でもその後遺症なのか、生え際の薄さがひどくて、どうにかならぬものかと思っています。独創性が重要、というのは高校の頃からすでに思っていたのですが、このように、若気の至りというか、あまり良い結果にならなかったことも多々ありますね。

## 学生時代に “やっておくべきこと”と “やってはいけないこと”は？

いらない勉強はありません。後で役立つことが数多くありますよ。今は必要ない気がしているだけです。例えば、卒業してから海外に行って仕事をするのが多くあると思います。その際に、その国の歴史、文化、地理等様々なバックグラウンドを知らないと、なかなか上手くコミュニケーションがとれません。もっと言うと、日本の歴史や文化を知らないと、会話が続きません。英語が苦手だから外国での会話が苦手なのではなくて、深い教養が無いから会話が苦手なんだ、とよく思い知らされました。

ですから、何にでも挑戦するべきです。必要ないと思わないで下さい。何もしないでぼーっと過ごすのが最悪です。何もしないことは“もったいない”ですよ。何度も言いますが“いらない勉強はありません”必要ないとは、勝手に思いこんでいるだけです。必要になること結構多いです。

あとは貯筋(貯金ではない)ですかね。何をやるにしても体力は必要です。筋力を蓄えて下さい。

それから、やってはいけないことですが“人のまねばかりすること”です。もちろん先人達の知恵を拝借するのは必須ですが、そこから何かを生み出さないのはダメ。また、既存の概念を鵜呑みにすることもダメダメ。先人の知恵を学んだ後、それをどう発展させて行くかが大切です。先人の知恵を参考に、自分自身でそれを消化し、アレンジすると何かが見えてくるのではないのでしょうか。それが成功に繋がると思います。

## 今の大学生に一言

自分たちに出来ないことはない!!という意気込みで何事にも取り組んだら良いと思います。自分の中で“ここまで”って壁を作っている学生さんが多いですね。もったいないですよ。勉強でもスポーツでも何でも良いのです。まず意気込みを示して欲しいのです。そこから何かが生まれると思うのです。

それから引き出しを数多く作って下さい。引き出しが多いと何かに行き詰まったとき、どこかの引き出しに必ず何かヒントが見つかりますよ。私も、研究に関係ないと思っていた引き出しからヒントを得たことは結構ありました。

## これから受験する 高校生に一言

受験は無味乾燥と思えますが、最も努力が成果に繋がりがやすく、また、人の節目を作る意味で、大事なイベントだと思います。大きな太い節を作るつもりで、受験勉強を楽しんでやってしまってください。竹と同じで、大きな節が沢山ある人は強力です。ですから、受験を大きな節の一つにして強い自分を作ってください。

それから、早く大学に来て、教科書を覚える側から、教科書を作る側、つまり、新しい物や法則を発見する側になってください。苦しいけど、教科書を作る作業は楽しいですよ。皆さんと大学でお会いできるのを楽しみに待っています。

何にでも  
挑戦するべきです。  
何もしないことは  
もったいない。  
いらない勉強は  
ありません。



### 【略歴】

- 1987年3月 九州大学薬学部 卒業
- 1991年3月 九州大学大学院薬学研究所博士課程修了
- 1992年4月 (財)ヒューマンサイエンス振興財団博士研究員
- 1995年4月 厚生省入省
- 1996年10月 英国ケンブリッジ大学博士研究員
- 1998年12月 国立医薬品食品衛生研究所薬理部主任研究員
- 2002年4月 国立医薬品食品衛生研究所薬理部長
- 2007年1月 山梨大学教授(医学部薬理学講座)

### 【専門分野】

神経化学・神経薬理学 薬理学一般

### 【研究テーマ】

グリアニューロン連関研究(Glia-to-neuron interaction)  
セルセンサーとモーダルシフト;ATPセンサーによる情報制御(Cell-sensor and modal shift; information processing by ATP-sensor)  
グリア創薬(Development of new drugs targeting glial cells)



# Schuichi Koizumi



## 住居学の立場から、 快適な住生活の創造と 実践について考える



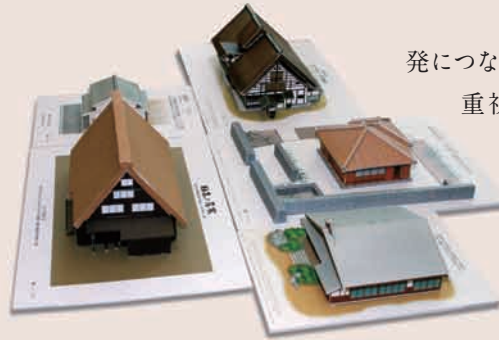
### 住まいとは？

衣食住は暮らしの原点です。住まいは家族の生活の拠点であり、生命や財産を守る器です。地震等の災害に強く、長持ちし、高齢になっても安心して快適に住み続けられるように住宅の間取りや広さ、設備、立地、住環境等を整えていく必要があります。ライフスタイルや住要求の変化にあわせて適切な住まいを選択し、自分らしく豊かに暮らすためにはどうすればよいのか。田中研究室では、住居学の立場から、快適な住生活の創造と実践について考えています。

### 研究テーマ

ゼミ生は現在3名（4年生2名、3年生1名）で、家族のようなものです。卒論生は共生社会コースと家政教育専修から受け入れていて、3年後期から配属されます。少人数のためゼミの運営は基本的に個別ゼミの形式をとっています。学生からみればきめ細かく丁寧に指導してもらえる点が大きな特徴です。

研究対象は住生活及び住まいを中心とした生活空間全般で、地域に根ざした住まい・まちづくりをキーワードに、1) 自治体住宅政策と住宅問題、2) 山梨の風土に根



発につなげていく実証的アプローチを重視しています。成果はもちろん大きい方がよいわけですが、「なぜその研究が必要なのか」「実生活や社会にどう役立つのか」といった問題意識を大切にしています。

### 地域や学校との連携

山梨県の「甲斐の家」プロジェクトではゼミ生がワークショップに参加し、山梨の風土に根ざした木造住宅の折り紙模型キットを作成しました。この中の「甲斐の家 2002」は実際に建設され、モデルハウスとして公開しています。また県内の家庭科教員とも連携し、山梨、長野、沖縄など全国各地の民家の折り紙模型キットを使った授業実践を行っています。新しいプロジェクトとしては来年度から本格的に「山梨市エコハウス」の普及啓発に取り組む予定です。

### 卒業生

研究室を卒業・修了した学生は13年間で約30名で、北海道から宮崎まで全国で元気に活躍しています。全員が教職や住宅関係の仕事についているわけではありませんが、研究室で学んだことは社会人になっても実生活に役立っていると信じています。



# 大学の財政状況について

平成20年度決算の損益計算書から、山梨大学の財政状況を見てみましょう。

## ●損益計算書の概要●

経常費用	
教育経費	1,158
研究経費	1,825
診療経費	7,545
教育研究支援経費	131
受託研究費等	1,383
人件費	14,470
一般管理費	719
その他	230
<b>計</b>	<b>27,461</b>

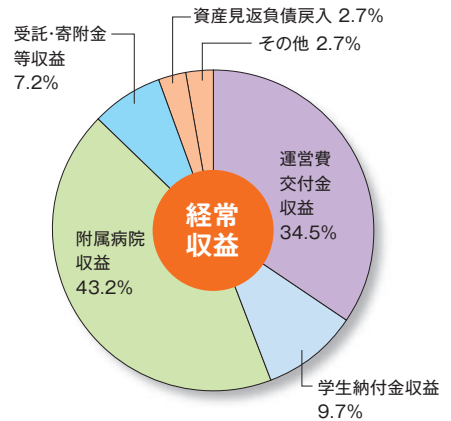
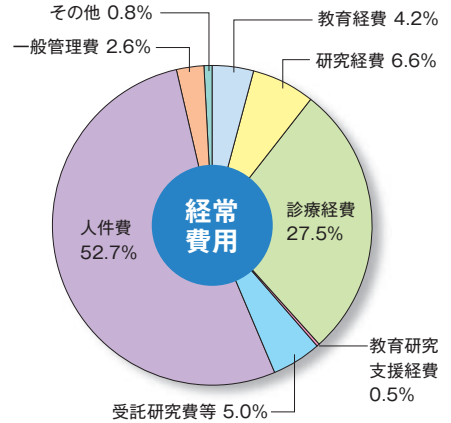
臨時損失	
固定資産除却損	18
その他	
<b>計</b>	<b>18</b>

<b>当期総利益</b>	<b>1,312</b>
--------------	--------------

経常収益	
運営費交付金収益	9,910
学生納付金収益	2,789
附属病院収益	12,384
受託・寄附金等収益	2,067
資産見返負債戻入	781
その他	761
<b>計</b>	<b>28,692</b>

臨時利益	
承継剰余金債務戻入	0
その他	10
<b>計</b>	<b>10</b>

<b>目的積立金取崩額</b>	<b>89</b>
-----------------	-----------



山梨大学の平成20年度決算を収支全体で見ると、大学の運営に必要なとなった費用は約274億61百万円、収益は約286億92百万円でした。

大学の財源となる経常収益は、附属病院収益が一番多く約123億84百万円(43.2%)、次に国からの運営費交付金収益(税金)が約99億10百万円(34.5%)となっていて、この二つの収益だけで全体の約78%を占めています。

授業料や入学料など学生の皆さんが納付する収益は9.7%であり、国の支援により経営が成り立っていることがわかりますが、運営費交付金は、国立大学法人の運営をより効率化することを目的として、毎年度1%ずつ削減されることになっているため、年々財政が厳しくなっていく状況にあります。

また、学生納付金収益額は授業料免除を実施する前の総額であり、実際にはここから授業料約1億41百万円と入学料約4百万円が免除されています。授業料免除額は授業料収益の6.0%に当たります。

受託研究費や寄附金などの外部資金は7.2%であり、同規模大学の平均5.1%を上回っています。今後も積極的に外部資金を獲得するよう努力していきます。

経常費用は、人件費が約144億70百万円(52.7%)と半分以上を占め、診療経費も約75億45百万円(27.5%)となっています。

教育経費は4.2%ですが、学生1人当たりでは約24万8千円となっております、これには教員の人件費は含まれていません。

研究経費は6.6%で、教員1人当たりでは約273万1千円となり、同規模大学の平均約197万9千円を大きく上回っています。

財務会計の処理上では、当期総利益が約13億12百万円と企業会計でいう経常利益計上になっておりますが、これは国立大学法人特有の会計ルールによるものが大部分で、実際に現金に裏付けされた利益は約1億06百万円であり、目的積立金として繰り越され、教育研究の質の向上や組織運営改善のために使用していく予定です。

学生納付金依存度 **9.7%**  
同規模25大学平均 **13.0%**

外部資金比率 **7.2%**  
同規模25大学平均 **5.1%**

人件費比率 **52.7%**  
同規模25大学平均 **53.9%**

授業料免除額対授業料収益 **6.0%**  
=授業料免除額(1億41百万円) / 授業料収益(23億38百万円)

同規模25大学とは、医科系学部とその他の学部で構成され、学生収容定員1万人以上の大規模大学を除く25国立大学法人を指しています。

学生当教育経費 **24万8千円**  
同規模25大学平均 **20万6千円**

教員当研究経費 **273万1千円**  
同規模25大学平均 **197万9千円**

なお、詳しくは山梨大学HP・財務に関する情報 ([http://www.yamanashi.ac.jp/modules/profile\\_top/](http://www.yamanashi.ac.jp/modules/profile_top/)) をご覧ください。



部員撮影：御殿場線

甲府  
Campus



部員撮影：日暮里舎人ライナー（開業前）



部員撮影：一畑電鉄



少人数ながらも  
個性豊かでさまざまな  
嗜好を持った部員が  
男女ともに集まって  
楽しめます！

部員撮影：銚子電鉄

# 鉄道研究部

普段何気なく電車に乗っていて、『どうしてこの路線はこんな遠回りをするんだろう?』とか『どうしてこんな形になっているんだろう?』など、ちょっとした疑問をお持ちになったことはありませんか? そんな疑問こそが、鉄道研究部のある所以です。

.....  
鉄道研究部は生まれた(正確には再生した)ばかりのサークルです。部員もまだ10名も居らず、当然ながら部室也没有。ですから『そんな状態のサークルなんかで何ができるの?』と疑問をお持ちの方も大勢いらっしゃると思います。確かに鉄道研究部の晴れの時は、これまでに重ねてきた調査の発表や制作してきた模型・写真の展示ができる、学祭での発表の時のみですから、部員も少なく部室もない山梨大学鉄道研究部は再生以来“何も見せていないサークル”の状態が続いています。しかし、だからと言って実態が何もないわけではありません。

皆さんは鉄道趣味には複数の種類があるということをご存知でしょうか。撮影が好きな“撮り鉄”、旅行が好きな“乗り鉄”、模型が好きな“模型鉄”、鉄道の音が好きな人“録り鉄”……と、種類を挙げればざりがありません。しかし、それらは皆同じ“鉄道が好きな人”でも必ずしも気の合う仲間になるとは限りません。事実、大規模な鉄道研究部では部員の嗜好の相違からおこる亀裂が運営上のネックとなってしまいます。一方、山梨大学鉄道研究部は小規模ゆえに現段階では“部は存在するが、行動の主体は個人”という方針でありますので、部全体での活動は少なく、気の合う仲間同士で鉄道を使った旅行を企画したり、写真撮影に行ったり、模型制作をしたり、文献を探して興味のあることを深めるなど、部員間に嗜好の相違があっても好きなことに好きなだけ打ち込むことができようとなっております。

つまり、鉄道研究部は“同じ鉄道趣味の人を探すコミュニティ”として機能しているから、少人数ながらも個性豊かでさまざまな嗜好を持った部員が男女ともに集まり楽しむことができるサークルであると言えます。だから、『あまり熱心でもない』という方や『やりたいこと以外やりたくない』とお考えの方も、安心してご参加いただくと確信しております。

当サークルに少しでもご関心をお持ちになったら、ぜひお気軽にご連絡ください。



こんにちは。私たちボート部は現在総勢30人程で活動しています!

皆さん「ボート」って知っていますか!?ボートという競技は日本ではまだマイナースポーツですが、欧米では“紳士のスポーツ”と言われ、メジャースポーツの一つとして知られています。ボートには多くの種類があります。1～8人乗りがあり、山梨大学医学部ボート部では主に1～4人で漕ぐボートで練習しています。

ここで、私たちの活動について紹介したいと思います。3月中旬～11月までは早朝に河口湖で実際にボートに乗る水上練習、12月～3月初旬までは医大グラウンドや体育館で基礎体力の向上を目的とした練習を行っています。

水上練習では、河口湖の自然に囲まれながらの練習になります。赤富士や湖面に映る逆さ富士、山々の紅葉など、美しい景色の中での練習は最高です!ボートは漕手がオールを水に入れ、「てこの原理」を有効に使って進めていきます。技術の高いクルーは、水上を滑るような感覚で進んでいきます。また、体力・技術だけあっても試合で勝てるというわけではありません。複数の人数で進めるのは1つの艇です。クルー全員が動きを合わせて漕ぐことで、より速いスピードを出すことができます。ボートの魅力は、この『究極のチームワーク』を要求する所にあるのです!!

今年、私たちは持ち前のチームワークを発揮し、目標としていた東医体3連覇、医療系レガッタ5連覇を達成することができました。各代の先輩方の試行錯誤の結果、ここ数年で急激に力をつけてきました。最近では医学部の枠組みを越えて、国体やインカレ(全日本大学選手権)にも挑戦しています。今後も部活の輪を大切に、チーム一丸となって、更なる高みを目指して頑張っていきたいと思っています。

医学部  
Campus



2009年東日本医科学生総合体育大会(東医体)で3連覇

## ボート部



2009年東医体でライバル東北大学との試合



部長の奥 哲治(医学科3年)

赤富士や  
湖面に映る逆さ富士、  
山々の紅葉など、  
美しい景色の中での  
練習は最高!



紅葉の河口湖

クローズアップびる

# Close-up People

大学院教育学研究科  
修士課程  
理科教育専修1年生

田中啓太さん



## Close-up People タナカルビとは？

理科教育に所属している学生の中からやりたい人が集まってソフトボールチームを作っています。「タナカルビ」とはそのチームの名前です。サークルのようなしっかりしたものではなく、メンバーも決まっています。「タナカルビ」は僕が3年生のとき(6年前になります)に結成しました。人生の中で何か趣味を見つけようと思い「歳を取ってもできるもの」で何かないか考えた結果、ソフトボールに行き着きました。まあ、集まった人の中にソフトボールをやりたい人が多かったのと、野球経験者が多かったのもソフトボールをやろうと思った理由です。ちなみにソフトボールはスポーツ系の趣味ですが、体を動かさない方の趣味はカメラです。「タナカルビ」という名前は、僕の名前「田中」と焼き肉の「カルビ」を合体させたものです。僕はカルビよりはホルモンが好きですが、語呂の良さでカルビになりました。

## Close-up People タナカルビでは どのような活動をしているのですか？

普段は日曜日の夜、緑が丘のグラウンドで練習をしています。ノックしたり、打ったり、守備の練習なんかをやっています。大体3時間くらいやりますね。くたくたになって家に帰って、次の日の朝起きられなかったり(笑)。学生生協が主催するスポーツ大会にも参加していて、上位入賞することもあります。少し前は優勝もしました。

## Close-up People タナカルビをやってきて 一番印象に残っていることは？

チームが優勝した時はとてもうれしいです。でも「印象に残っている」ということであれば、タナカルビが結成されて間もない頃の大会ですね。



満  
喫  
中  
人  
生  
楽  
し  
い

チームを作って間もなかったのに現在よりも練習をたくさんしていました。僕は二塁にいて、2アウト満塁・相手チームとの点差は1点という状況。僕が帰れば逆転勝ちというなかで同級生の打ったボールがサードライナーで終わったときです。今でも、ボールがグローブに入る瞬間の映像まではっきり覚えていますよ。

## Close-up People 苦労したことや悩みなどはありますか？

苦労したことはないです。集まってくれるメンバーに恵まれているので。悩みは…最近練習に参加してくれる人が少なくなっていたことですかね。理科教育専修の学生だけではなく環境科学コースの学生なども最近に参加してくれています。個人的には女の子を募集中です。理科教育は女性が少ないので(笑)。

## Close-up People タナカルビの活動を通して感じたことは？

タナカルビをやってきて人生がすごく豊かになった気がします。社会に出て行っても、チームの中でうまくやっていたらいいかなと思ったり、集団で一つのものに向かっていくことがあると思います。でも、そんなに難しく考えなくてもタナカルビは「楽しく」がモットーなので(笑)。僕はタナカルビがあるから大学が好きなのかも知れません。

## Close-up People 最後に、後輩に向けて一言

僕が一度、学部卒業を経験して感じたことは、学生でいたときに感じていたことが卒業したら感じられなくなるということ。自分自身のことにはよくわからない(わかっていると思って実際には分からない)し、

人は日々変わっていくものだと思うから、その時に自分が何を感じていたのかをメモなり日記なりに残しておく自分のためになると思います。

それから、人と関わることをしてほしいと思います。世間では人間関係が希薄になってきたりして「声をかけられたり頼まれたりすれば何かやるけど…」という人が多くなっていると思いますが、教育人間科学部において教師を目指すのならば、自分が人間関係を作っていけるようにならなければ!僕自身も進んで声をかけたり人との関係を作ることを実践しています。



チームでのMVP賞授賞式

## 沖縄ダイニングカフェ TIDA (ティーダ)

山梨県笛吹市石和町広瀬1374-37  
[電話] 055-236-8787  
[定休日] 年中無休 [席数] 45席 [駐車場] 有り  
[営業時間] 11:30~14:00(ランチ)/14:00~17:00  
(カフェ)/17:30~23:00[金・土・祝前日は24:00まで] (ディナー)



### 石和に沖縄?

国道20号線、ドンキホーテのすぐ近くに沖縄があると思ったら皆さんは信じますか!?元々空間デザインを手掛けるアトリエティーダがオープンした沖縄ダイニング&カフェがこのティーダなんです。『スローライフはスローフードから、スローフードはスロー風土から生まれる』をモットーにした店内は琉球漆喰の壁で独創的な癒しの空間であり、ゆったりとした店内で過ごす時間は最高のひと時になるはず。

メニューは、琉球王朝から伝わる琉球料理と、家庭から生まれた沖縄料理です。決してぜいたくな素材や豪華な料理ではありませんがその沖縄独特の気候・風土に育まれた豚肉と野菜をバランスよく組み合わせたものが多いことが特徴で女性にも大人気です。

一度行ったらやみつきになってしまうこのお店。ぜひ一度、足を運んでみてください!



琉球漆喰の塗られた店内



中庭



ゴーヤチャンプルー



ソーキそば



コース料理

## 大黒屋

山梨県甲府市塩部2丁目2-28  
[電話] 055-251-4881  
[定休日] 月曜日  
[営業時間] 10:00~20:00



デザインを相談中



デザインの手直し



店舗外観

### 福をお届けします大黒屋!

大学祭、スポーツ大会等のイベントを盛り上げてくれるアイテムといえば、揃いのTシャツやユニフォーム。大黒屋はそんな梨大生のニーズにバシッと応えてくれます。年に一度やってくる『あ〜Tシャツ作りてえ』という感情がこみ上げてきた日には、迷わず大黒屋の門を叩きましょう!女将さん(?)が気さくにデザインや価格の相談にのってくれて、アドバイス、アレンジを加えてくれます。お茶を飲みながら女将とTシャツ話をしていると、時間を忘れてつい長居してしまいます。なぜなら女将もプロだから。勿論、その間膨らむのは『いいTシャツ作りてえ』という向上心。そんな限界知らずの向上心で作ったTシャツはどうです?一生の宝になるでしょう。そして、揃いのTシャツに共に袖を通した仲間も...一生の宝ってか。

服に福を乗けて売られちゃ敵いませんよ。

イベントから帰って家でそのTシャツを洗濯機に入れるとき、あなたはこう言うかも知れません。「大黒屋さん、あなたの勝ちだよ。」

部活、学科単位からサークル、バイク野郎たち、山形県人会までと各界から厚い支持を集める大黒屋。あなたも気の合う仲間と思い出の一着を作ってみてはいかがですか?

他所にはできないサービスがここにはあります。きっとあなたを満足させることでしょう。

豊富なサンプルTシャツ

## 燃料電池 ナノ材料研究センター 開所



燃料電池の本格的普及を目指した「燃料電池ナノ材料研究センター」が開所しました。

同センターは(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)と山梨県の支援を受け開所する運びとなったもので、甲府市宮前町の旧山梨県知事公舎の跡地に建設したものです。

## 平成21年度大学祭を 開催

10月24日から25日にかけて第8回医学祭を医学部キャンパスで、10月30日から11月1日にかけて第7回梨甲祭を甲府キャンパスで開催し、芸能人のステージや学生らによるダンスパフォーマンス、サークル等による各種模擬店やフリーマーケットなど、多くの来場者で会場は賑わいました。



医学祭(医学部キャンパス)



梨甲祭(甲府キャンパス)

## 募集要項の請求方法など(入試課) 受験生の皆様へ

### 募集人員:

学 部	募集人員	前期日程	後期日程
教育人間科学部		117人	46人
医 学 部		55人	65人* (65人+若干人)
工 学 部		246人	47人

### 平成22年度山梨大学一般入試

出願期間:平成22年1月25日(月)~2月3日(水)

試験日程:(前期日程)平成22年2月25日(木)・26(金)  
(後期日程)平成22年3月12日(金)

合格発表:(前期日程)平成22年3月8日(月)  
(後期日程)平成22年3月23日(火)

### \*[予告]医学部医学科入学定員の改定計画について

医学部医学科において、平成22年度から入学定員増(若干人)を計画しています(計画が認められた場合、後期日程の募集人員が変更となります。)。なお、この計画は、国が組織する関係審議会の審査等によって確定しますので、決定した場合は、大学ホームページで公表します。

※新型インフルエンザの影響による追試験の実施については、ホームページに掲載します。

### 募集要項の入手方法:

- ①大学ホームページからテレメールで請求する場合……(「受験生の方へ」→「資料請求」)
- ②テレメールで請求する場合

1. 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

#### ●自動音声応答電話の場合

IP電話 050-2015-0555 一般電話 06-6222-0102

※IP電話:一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分間毎に約11円です。

#### ●携帯電話・PCのインターネットの場合

<http://telemail.jp> 携帯電話(iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ)、パソコンとも共通です。



2. 希望する資料番号(6桁)をプッシュまたは入力してください。

資料名	資料番号	送 料	郵送開始日
大学案内	563350	240円	配布中
一般入試学生募集要項	583350	390円	12月中旬
一般入試学生募集要項+大学案内	543350	580円	12月中旬

- 3.あとは、ガイダンスに従って登録してください。

なお、詳細は、下記大学ホームページ(受験生の方へ)をご覧ください。

(URL:[http://www.yamanashi.ac.jp/modules/prospect\\_top/](http://www.yamanashi.ac.jp/modules/prospect_top/))

<入試に関するお問い合わせ先>

山梨大学教学支援部入試課

TEL : 055-220-8046

E-mail :

[nyushi@yamanashi.ac.jp](mailto:nyushi@yamanashi.ac.jp)

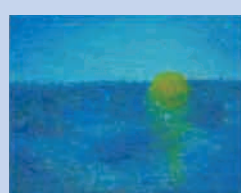
### 編集後記

Vine vol.9をお届けいたします。今年ももう少しで終わりです。キャンパス内が綺麗な時期というのは、1年にいくつかあります。1つは桜の時期ですが、もう1つは今だと思います。今キャンパス内には落ち葉がいっぱいで、特に銀杏の落ち葉の絨毯が所々にあり、その上を歩くと豊かな気持ちと郷愁を同時に感じます。さて、今号から、新たな特集を組みます。各学部の特徴的な教育及び研究プロジェクトを順次取り上げるのです。第1回目は、教育人間科学部のCST養成プログラムです。これは、理科教育の中核となる教員を養成する事業です。責任者の松森靖夫先生より寄稿を頂くことができました。

その他、本大学の財政状況も載せました。自分の学費がどのように実際の大学運営に活かされているか読んでみてください。

山梨大学の様々な面を取り上げるのが本広報誌の目的の1つです。今後とも本誌を応援よろしく申し上げます。

広報誌専門委員会委員長 古家貴雄



表紙作品の紹介

タイトル

「武田通り徹夜」

千葉ゆかり

教育人間科学部 生涯学習課程  
芸術運営コース 2年

### 山梨大学広報[VAIN] December 2009 vol.9

発行者:山梨大学広報誌専門委員会

[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学総務部総務・広報課広報グループ

TEL:055-220-8006 FAX:055-220-8024

E-Mail:[koho@yamanashi.ac.jp](mailto:koho@yamanashi.ac.jp)

山梨大学ホームページ

<http://www.yamanashi.ac.jp/>

